

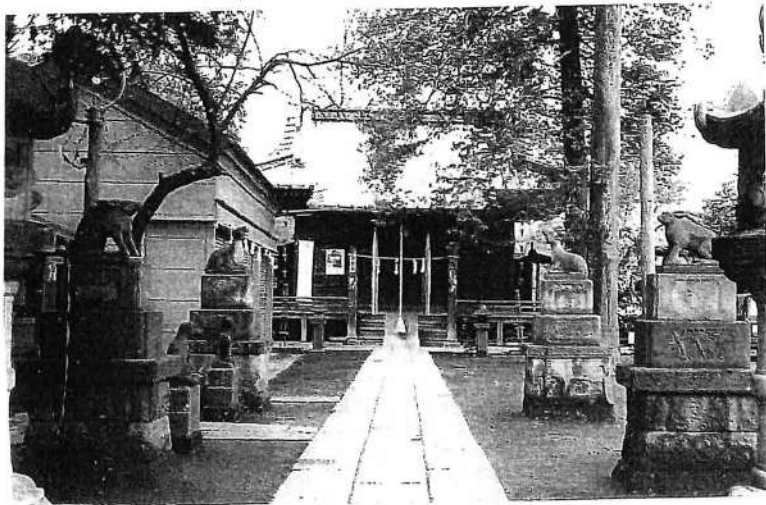
# タウン情報①

## 春日神社

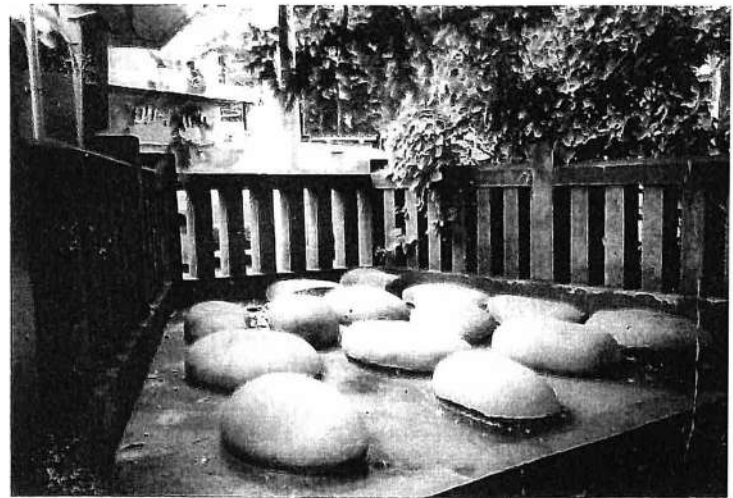
宮前三丁目一番、五日市街道に面した春日神社は宮前新田の鎮守様で、御祭神として経津主命、天児屋命、武甕槌命、比売命の四柱をお祀りしています。

創建は同村開村の時、井口八郎右衛門の子・杵右衛門が寛文十三年に奈良の春日大社に使者を遣わし、御神霊を勧請しました。

その使者を勤めたという、春日万右衛門の墓が宮前中学校正門脇にあります。社頭の左脇には15個の力石が保存しており、若者たちが石担ぎの腕くらべをしていました。



参道



担ぎ石

# タウン情報②

## 奉安殿

奉安殿とは、天皇、皇后両陛下のお写真(後真影)と「教育勅語」を「おさめ」しておいた建物でした。

戦争をしていた頃の日本は、天皇中心の世の中でした。その天皇が日本の国を「おおさめなさって」いて国土も国民も天皇のものとされていました。

私たち国民は、天皇に忠義をつくさなければいけないと教えられました。奉安殿の前は必ず最敬礼をするよういわれていました。

昭和20年、太平洋戦争が終わった後で取り壊されました。

高二小80周年記念文集より抜粋

年頭の感  
……皇紀二千五百九十八年……国民精神総動員  
員第二二年を迎へ世は挙げて尽忠報国……教授  
に訓練に養護に万善を尽し少国民をして八紘  
一宇の皇道精神を体得せしめ且体位増進に力  
を致し東洋永遠の平和を確保し得る偉大なる  
日本国民にまで成長せしめんとす。……支那  
膺懲は大乗的見地よりして隣人愛となり、容  
共を峻拒し、東亜和平を招来する所以である。  
我れよりすれば生命線の確保であり、東洋永  
遠の平和の為めの  
聖戦である。国民  
精神総動員は新年  
を迎へて更に拍車  
をかけ国民に徹底  
させ長期に亘る国  
難に処する覚悟を  
要求する。……教  
育報国の誠を……  
(昭13・2・8日  
発行、学校文集「  
麦ぶえ」より)

学校長



奉安殿 (昭和16年)

## タウン情報②①

### 新道(今の人見街道)と踏切

昭和の始めの頃、久我山の真ん中に新道を造る話が持ち上がり、それは広い道路5間道路だったのでみんなびっくりした。東は庚申塔から、西は大熊稲荷までの380間の新道でした。

ところが、鉄道を通す話も始まって、秦 活郎右衛門さん(今の久我山5丁目10番)の所に踏切を造るから踏切に架かる部品のコンクリートの土留は造らない事になった。鉄道の土地買いが始まって、畑より田んぼの方が安かったので、秦さんの所に踏切を造るのをやめて、田んぼに線路が敷かれてしまいました(久我山駅は田んぼの上に出来た)。秦さんは踏切を造るため土留をやめていた場所にコンクリート土留を造り、旧粋と新粋の違いが今でも残っています。

久我山東自治会発行「久我山昔話」より抜粋